

## 2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 七尾市立小丸山小学校 ] 担当教諭名 [ 菅田 満 ] ( 3年1組 31名 )

交流相手国 [ コスタリカ ]

海外学校名 [ La Escuela Surik ] 担当教諭名 [ Reynier Medina Alvarez / 藤本 亜子(JICA) ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	アートマイルに参加しよう	20

### ■作品について教えてください。

題 (テーマ)	七尾市の祭りと学校行事
絵に込めたメッセージ	相手の子どもたちの住んでいるところの文化と自分たち住んでいるところの文化を交流する



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
相手国の自然や文化について映像資料をもとに調べることによって、相手国をより身近に感じることができた。	交流がこちらからの一方通行で、深まらなかった。

### ■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
学年通信やPTA 広報で発信した。	特になし。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	7月	金沢星陵大学の学生による、「100人村ワークショップ」	大学生と楽しく交流品が体験学習し、世界の国と交流することの意味について考えていた。	総合
情報収集	10月	インターネットから、相手国の情報を収集し、教室に掲示したり映像資料を鑑賞したりした。	相手国の自然の豊かさに感動し、いつてみたいという思いを持つ児童が多数出てきた。	総合
テーマ検討	10月	本校主体で進めることを相手国と打ち合わせしていたので、児童と相談しながら(イメージを描かせながら)テーマをはっきりさせていった。	七尾市の自慢、学校の特徴、知ってもらいたい文化など、一人一人自由に考え描いていた。	総合
制作	11月 12月	グループごとに分かれて絵を制作	熱心に書いていた。 他のグループの担当場所にも積極的にかかわっていた。	総合
鑑賞	3月	共同制作した絵の鑑賞	自分たちが描いた部分を相手国と比較したり、共通点を見つけたりして、お互いの文化について考えていた。	総合

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	4	相手国に伝えるために、資料を調べて絵を描くことが、ふるさとの良さに気づくことにつながった
異文化の理解	A	5	相手国のことについて調べ、感想をかいた。コスタリカの自然のすばらしさに感動しその良さを味わうことができた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	4	自己紹介や歌・器楽演奏、器械運動の様子をビデオで撮って送るとき、相手に伝わるように気持ちを込めることができた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	3	インターネットで相手の情報を集めた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	3	絵を描く活動を通して、学級内でお互いを認め合う関係を気づくことができた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	絵を描く活動を通して、役割を分担して協力することができた。
学習を追究する意欲	A	4	相手国のことをさらに知りたいという意欲をもった。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	5	自分たちの文化や学校の様子を絵であらわすことができた。
作品を鑑賞する力	A	4	相手国の豊かな表現力を感じ取ることができた。